



〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1番1号
TEL:083-252-0288 (代表) FAX:083-252-8099
URL:http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/

件名	関門地域共同研究会成果報告会の開催について		
内容	<p>北九州市立大学地域戦略研究所と下関市立大学附属地域共創センターが共同で設立した「関門地域共同研究会」は、平成6年度から関門地域に関する調査研究を行っています。設立以来24年目となる昨年度は、「アクティブシニア」及び「日本遺産」をテーマに研究を行いました。この度、その成果報告会を行います。また、報告後にはシンポジウム「関門地域における“文化財を活かした地域活性化”の可能性」を併せて開催いたしますので、ご案内申し上げます。</p> <p>【日時】 2019年7月25日(木) 14:00～16:30</p> <p>【場所】 西日本総合展示場新館(AIMビル)3階 314・315会議室 (北九州市小倉北区浅野3丁目8-1)</p> <p>【内容】 第1部 関門地域共同研究会 2018年度研究報告 ※上記2テーマより2件の研究報告を実施</p> <p>第2部 シンポジウム 「関門地域における“文化財を活かした地域活性化”の可能性」 ※パネラー等内容詳細は別紙をご確認ください</p> <p>【申込方法】 貴社・団体名、住所、電話・FAX番号、E-mailアドレス、参加者氏名(役職名)を明記の上、7月23日(火)までにFAX、E-mail、郵送にて。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>申込先：〒751-8510 下関市大学町2丁目1番1号 下関市立大学附属地域共創センター TEL:083-254-8613 FAX:083-253-1622 E-mail: chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp</p> </div>		
問い合わせ先・担当者連絡先			
経営企画グループ長	地域共創班長	担当者	連絡先
きしもとみつひろ	たかしまちゆき	たかしまちゆき	083-254-8613
岸本 充弘	高島 千之	高島 千之	
提出日	2019年7月10日	広報連絡先 (経営企画班)	Tel.083-254-8707 koho@shimonoseki-cu.ac.jp

2019年6月吉日

各位

下関市立大学附属地域共創センター センター長 柳 純
北九州市立大学地域戦略研究所 所長 柳井 雅人

2019年度「関門地域共同研究会 成果報告会」の開催について (ご案内)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

下関市立大学附属地域共創センターと北九州市立大学地域戦略研究所で構成する「関門地域共同研究会」は、1994年度から関門地域に関する様々な調査研究に取り組んでいます。

昨年度(2018年度)は、関門地域を取り巻く諸課題の中から、「アクティブシニア」と「日本遺産」の2分野の研究を行いました。この度、その成果報告会を開催いたします。

また、成果報告会においては研究報告に加え、シンポジウム「関門地域における“文化財を活かした地域活性化”の可能性」を開催いたします。豊かな文化財を有する関門地域における取組の現状や、関門地域の文化財の持つ力を地域活性化により一層つなげるために必要な事項等について、専門家の方々や両大学の学生が登壇し議論を深めます。

ぜひともご参加いただけますようご案内いたします。

なお、準備の都合上、参加の旨を事前にお知らせいただければ幸いです。裏面お申し込み欄に掲載の事項をご記入のうえ、郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法で、2019年7月23日(火)までにお申し込みください。

皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

開催概要

■ 日時・会場

日時： 2019年7月25日(木) 14:00~16:30

会場： 西日本総合展示場新館(AIMビル)3階 314・315会議室

(北九州市小倉北区浅野3-8-1) ※JR小倉駅新幹線口より徒歩5分

■ プログラム (詳細は裏面に掲載)

14:00 開会

14:05~14:55 **第1部 関門地域共同研究会 2018年度研究報告(2報告)**

14:55~15:05 休憩

15:05~16:30 **第2部 シンポジウム「関門地域における“文化財を活かした地域活性化”の可能性」**

16:30 閉会

■ お問い合わせ先

北九州市立大学地域戦略研究所

TEL. 093-964-4302 chiikiken@kitakyu-u.ac.jp

担当：内田(好子)

下関市立大学附属地域共創センター

TEL. 083-254-8613 chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp 担当：高島

◎ お申し込みについて

郵送、FAX、Eメールで下記事項をご記入のうえ、お申し込み下さい。

■ご記入事項

お名前			
貴社名・団体名		役職等	
電話番号		FAX 番号	
E-mail			

※ お送りいただいた個人情報は厳重に管理し、他の目的・用途では使用いたしません。

■お申し込み先

郵送 : 〒751-8510 下関市大学町 2-1-1 下関市立大学附属地域共創センター

FAX : 083-253-1622

Eメール : chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp

● 詳細プログラム

14:00 開会挨拶 北九州市立大学 副学長・地域戦略研究所長 柳井 雅人

14:05～14:55 第1部 関門地域共同研究会 2018年度研究報告

1) 高齢労働者による地域支援活動への意識に関する研究－山口県の事例をもとに－

下関市立大学 経済学部教授 難波 利光

北九州市立大学 基盤教育センター准教授 坂本 毅啓

2) 日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」認定後2年間の現状分析

北九州市立大学 地域戦略研究所教授 南 博

14:55～15:05 休憩

15:05～16:30 第2部 シンポジウム「関門地域における“文化財を活かした地域活性化”の可能性」

趣旨： 北九州市と下関市が合同で文化庁に申請した「関門“ノスタルジック”海峡 ～時の停車場、近代化の記憶～」が2017年に日本遺産に認定された。関門地域の多くの歴史的な建造物や、映像作品の舞台にもなっている街並み・景観等の資源を連結させ、魅力ある圏域づくりや情報発信に取組み日本有数の滞在型観光地を目指すこと、また住民主体の地域活性化推進をめざし、様々な活動が行われている。

この日本遺産に関する動きのほか、関門地域においては、歴史的資産も活かしたインバウンド促進、産業観光や夜景観光の推進、「まちあるき」による体験型・交流型の観光の創出など、歴史や文化を活かした様々な観光関連の取組が活発に行われている。

そこで、「関門地域における“文化財を活かした地域活性化”の可能性」をテーマに、関門地域における取組の現状や、関門地域の文化財の持つ力を地域活性化につなげるために必要な事項等について意見交換し、今後の関門地域のまちづくりにおけるヒントを発信することをめざす。

パネリスト： JR九州ステーションホテル小倉(株) 代表取締役社長 黒木 俊彦 氏

(予定) 下関市教育委員会 教育部文化財保護課主任 藤本 有紀 氏

北九州市 産業経済局地域・観光産業振興部観光課係長 泊 圭子 氏

下関市立大学 経済学部国際商学科4年 福田 悠美

北九州市立大学 地域創生学群地域創生学類4年 南 祐輔

コーディネータ： 北九州市立大学 地域戦略研究所教授 南 博

16:30 閉会挨拶 下関市立大学 附属地域共創センター長 柳 純